

# 新型コロナウイルス感染症の発生状況（富山県）

【第 36 週（ 2024/9/2～9/8 ） 感染症発生動向調査速報値（ 2024/9/11 時点）】

定点医療機関※新規患者報告数： **358** 人、定点医療機関当たり **7.46** 人

※インフルエンザ/COVID-19定点（小児科29定点、内科19定点）

図1. COVID-19週別発生動向の推移（全国、富山県）

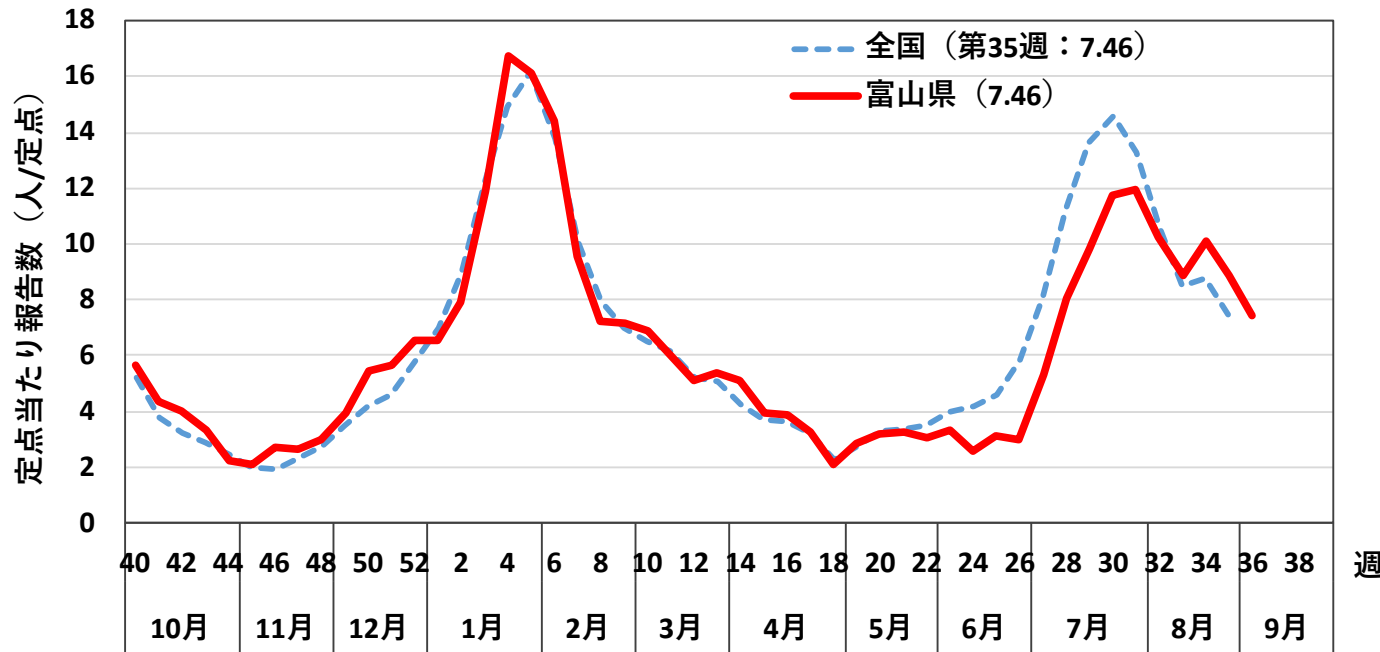
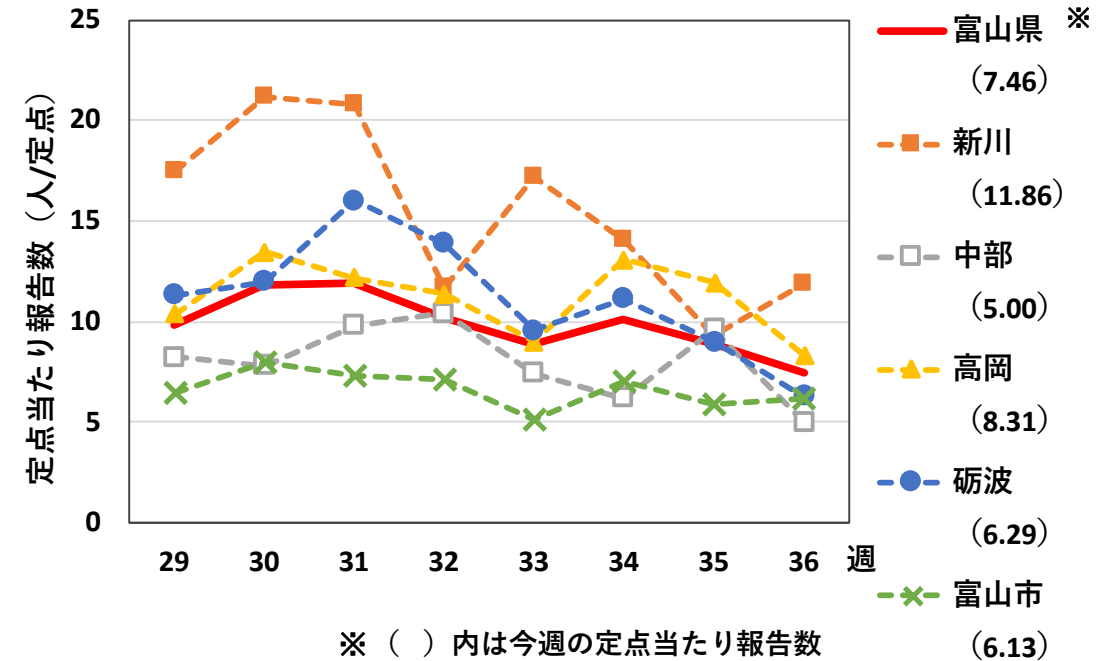


図2. 厚生センター（保健所）管内別発生動向の推移



- ・ 今週の定点医療機関当たり報告数は7.46人/定点であり、先週（8.85人/定点）から減少した（図1）。
- ・ 厚生センター・保健所管内別にみると、新川管内は増加した一方、その他の管内では減少または横ばいであった（図2）。

### 図3. 年齢階級別COVID-19報告数の推移（富山県）

図3-1. <20歳

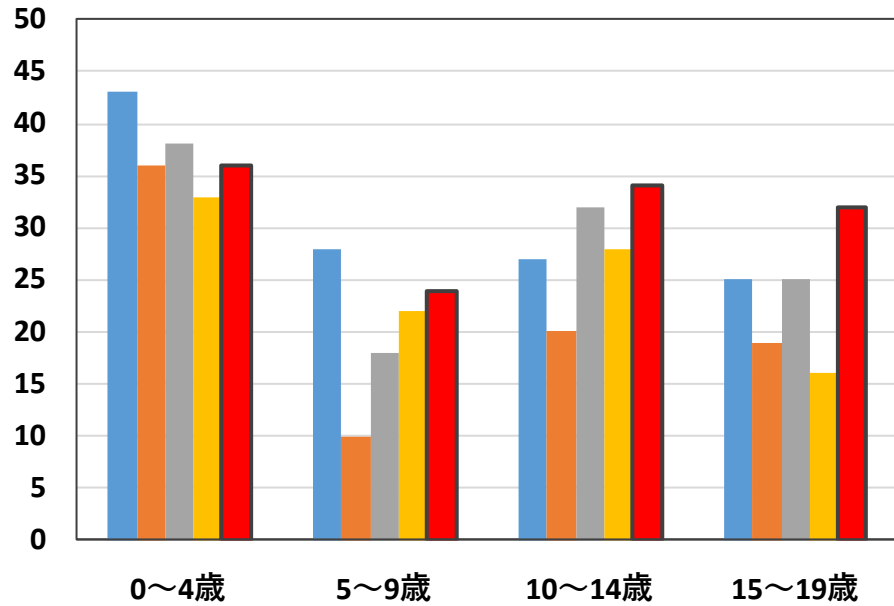
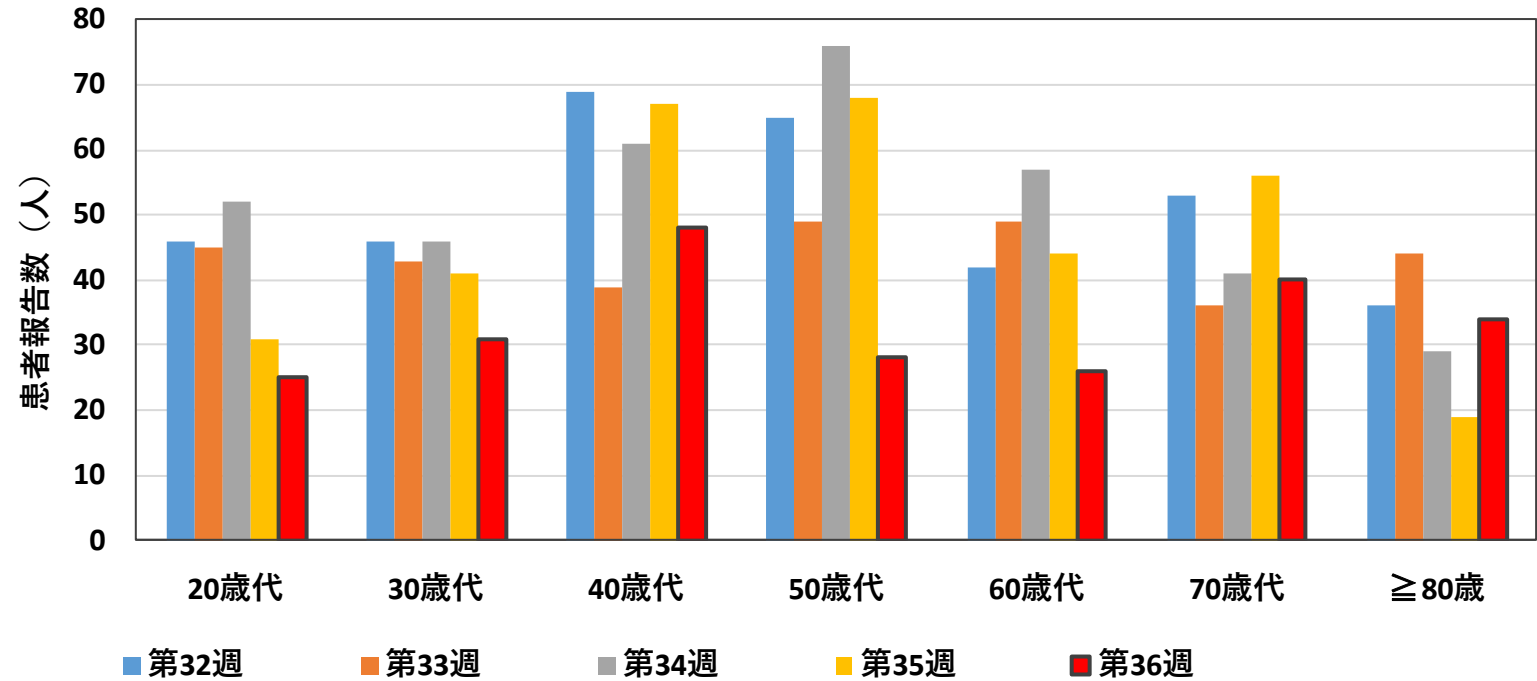


図3-2. ≥20歳



※定点医療機関は小児科が多い（小児科：29定点、内科：19定点）ことから、小児の報告数は成人と比較して過大評価となることに留意する必要がある。

- 20歳未満、80歳以上で先週から増加した一方、それ以外の各年齢層では先週から減少した。

図4. COVID-19入院サーベイランス  
患者報告数の推移（富山県）

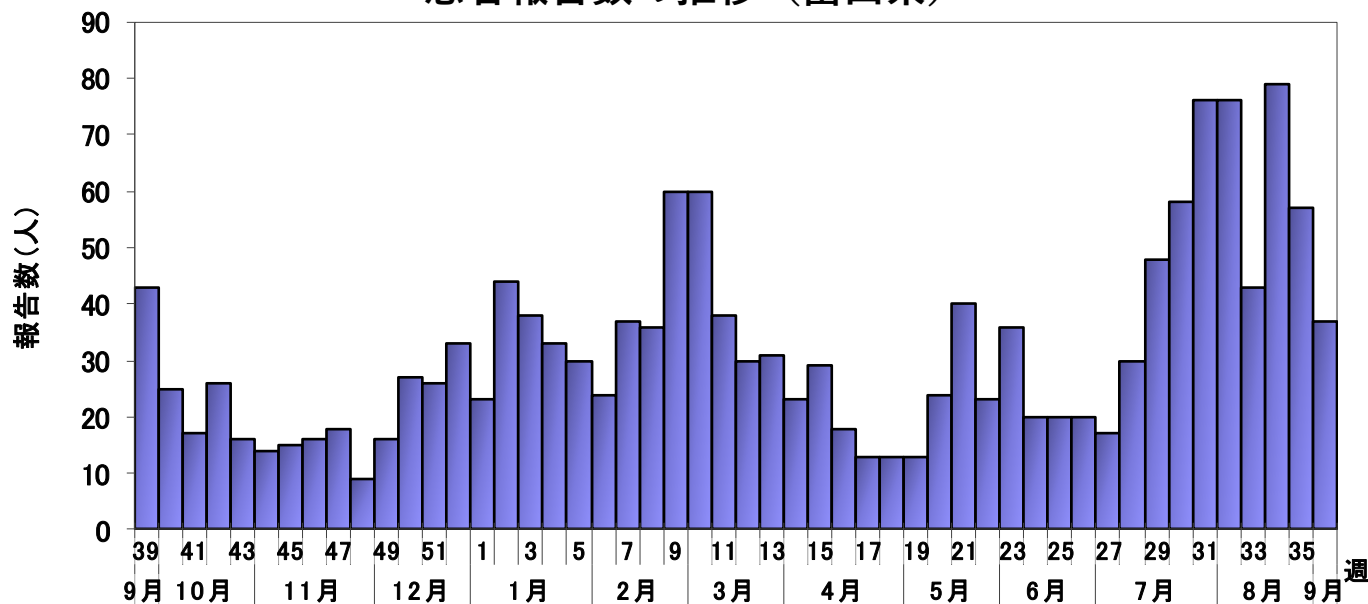
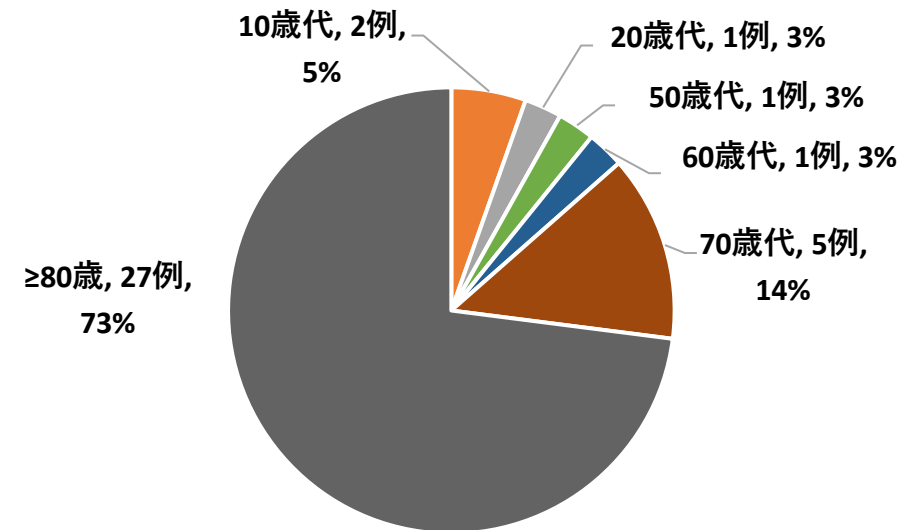


図5. COVID-19入院サーベイランス  
年代分布（第36週、37例）



※割合 (%) は四捨五入した整数で表記されるため、合計が100%にならない場合がある。

- 県内5か所の基幹定点医療機関を対象とするCOVID-19入院サーベイランスでは、第36週に37例の入院報告があり、先週（57例）から減少した（図4）。
- 患者の年代は、10歳代が2例、20歳代、50歳代、60歳代が各1例、70歳代が5例、80歳以上が27例で、70歳以上が87%を占めた（図5）。
- COVID-19の患者報告数は、県内では2週連続で減少しており、入院患者数も同様に減少している。一方、20歳未満の患者報告数は増加傾向であり、学校再開の影響が考えられた。引き続き今後の感染動向を注視する必要がある。